

「6月能楽鑑賞」あらすじ

平成30年6月22日(金) 神奈川同窓会春の行事

能 葵上 (喜多流)



光源氏の正妻、葵上は重い病に伏せています。

帝に仕える臣下が巫女に命じて原因を探らせると、そこに現れたのは源氏のかつての恋人六条御息所の生霊でした。

御息所は華やかだった過去を語りますが、葵上のために今は愛する源氏の足が遠のいたと、嫉妬のあまり我知らず生霊となって葵上を打ち据えます。

事態を重く見た臣下によって横川の小聖が呼ばれ、小聖が祈り始めると今度は鬼の姿に変じた御息所が現れます。

しかし、祈りの法力に御息所は鬼の心を和らげ、成仏するのです。

狂言 清水 (和泉流)



お茶の会を催す主人から、野中の清水に水を汲みに行くように命じられた太郎冠者は、面倒なので鬼が出たと嘘をついて戻ってきます。

主人は太郎冠者に持たせた大切な水桶が心配で清水に確かめてゆくと、本当に恐ろしい鬼が出てきて脅かします。

しかし、鬼は何故か太郎冠者最良、しかも声が太郎冠者にそっくりで、主人に正体を見破られ、太郎冠者は主人に追われて逃げていきます。

(国立能楽堂 能楽鑑賞教室 パンフレットより)

幹事 勝山悌治